

チャペル週報

しかし、弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。

(ヨハネによる福音書14:26)



2010.5.24~5.28 No.7
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

5月24日(月)	神 樋 川 一 幸(神4) 経 経済と人間① 小 林 伸 生(経済学部教授) 人 大切なこと③ 中 島 尚 美(人間福祉学部助教) 短大 聖書物語「ヨセフ物語」
5月25日(火)	ランバスチャペルアワー「千刈キャンプとキリスト教」 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原) 神 ランバスチャペルアワーに合流 文 アンドレアス・ルスターホルツ(宗教主事) 社 出会い③ 打 樋 啓 史(宗教主事) 法 音楽チャペル 聖歌隊 商 山 本 俊 正(宗教主事) 国 山 本 雅 代(国際学部教授) 教 細 川 正 義(副学長・文学部教授) 総 小 池 洋 次(総合政策学部教授)
5月26日(水)	神 高 橋 博 厚(M1) 社 オルガンに親しむ 高橋明子(関西学院チャペルオルガニスト) 法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師) 経 春の音楽チャペル 関西学院聖歌隊 商 山 本 俊 正(宗教主事) 人 今 村 仁 美(人間福祉研究科1年) 教 辰 己 隆(教育学部教授) 理 English Chapel Michel Lynn(理工学部准教授) 総 本 田 盛(総合政策学部教授)
5月27日(木)	神 河 村 兼二郎(D2) 文 上ヶ原ハピタット 社 出会い④ 岩 本 茂 樹(社会学部准教授) 法 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V. 商 日本・トルコ学生交流報告 竹原慎太郎(法3)、曾我部謡(文3) 国 バロックアンサンブル音楽礼拝 総 Joseph DeChicchis(総合政策学部教授) 短大 聖和創立記念礼拝「蒔かれた種」 吉新ばら(キリスト教教育・保育研究センター)
5月28日(金)	院 森 田 雅 也(文学部教授) 神 音楽チャペル バロックアンサンブル 文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事) 経 音楽チャペル Timothy Dale Boyle(宣教師) 人 Christian Morimoto Hermansen(宣教師) 教 和 田 薫(教育学部准教授) 理 「思いわずらうな」 松 木 真 一(宗教主事)

-
- ◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
5月28日(金) 法学部のために 関 谷 一 彦
◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～ 於:宗 教 主 事 室
-

「霊と言葉の出来事」

神 田 健 次

新約の使徒言行録2章の証言によれば、神の霊の息吹きによって最初の教会が誕生した出来事が描写されています。これが、ペンテコステと呼ばれる聖霊降臨の出来事です。

ペンテコステの出来事を描いている使徒言行録の表現は、「烈しい風」や「炎のような舌」というメタファーが用いられているので、一見異常な現象のように思われがちですが、冷静に見てみると、この出来事の本質は、「風」によって意図されている「霊」、そして「舌」によって示唆されている「言葉」の出来事であると言えます。神の霊の息吹きによって、人々の傲り高ぶる心が砕かれて最初のキリスト教共同体が誕生し、その回復した交わりとコミュニケーションの中から新しい言葉が与えられたと言えます。

ペンテコステの出来事は、旧約の創世記11章における「バベルの塔」の物語の関係でしばしば語られます。人間が神のようになろうとする塔の建設という傲り高ぶる試みに対して、神はその罰として塔の破壊ではなく、言葉を攪乱させた出来事は意味深長です。今日、身近な日常においても、お互いに言葉が通じ合わない、コミュニケーションが困難であるという背後には、まず他者の異なった思いや言葉に傾聴する対話的な心を忘れ、自分本位で、無意識のうちに驕り高ぶっている心が潜んでいるのではないのでしょうか。

数年前、関西学院でも展示会を開かれた日本のキリスト教美術を代表する国際的な画家渡辺総一さんの「ペンテコステ」という絵画があります。やや抽象的な手法ですが、食卓を囲む人々に神の霊の息吹が宿る中で、互いに手を取りあい喜びを分かち合う姿がいきいきと描写されています。よく見ると、互いに手を取りあう姿がハートのかたちになっています。信頼できる言葉と豊かなコミュニケーションの回復を示唆しているのでしょうか。

学院の第四代院長のベーツ先生が、太平洋戦争が本格的に始まろうとする中、母国カナダへの帰国を強いられ、その別れに際して学院関係者に、「この聖なる炎を絶やさないでください！」(Keep this holy fire burning!) という言葉を残されました。その「聖なる炎」とは、ペンテコステに由来するもので、自分とは異なる考えにしっかりと耳を傾ける対話的な心によって、豊かなコミュニケーションを共に形成することと云えないでしょうか。

(神学部教授)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、5月に入ると学生音楽団体による恒例のミニコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

- 5月25日(火) 関西学院バロックアンサンブル
- 5月27日(木) 関西学院聖歌隊
- 5月31日(月) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル
- 6月1日(火) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部
- 6月14日(月) 関西学院ゴスペルクワイア Power Of Voice
- 6月15日(火) 関西学院ハンドベルクワイア

いずれも12時50分から13時20分まで、ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて。

●チャペル・オルガニスト募集

関西学院では毎年チャペル・オルガニストを募集しており、本年は5月29日(土)にオーディションを行います。採用されると個人レッスンを受講でき、チャペル奏楽はじめ発表会、研修会、コンサートなどを通して教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身に付けることができます。

応募方法：「募集要項」「応募用紙」を吉岡記念館事務室宗教センター、神戸三田キャンパス事務室（I号館キャンパス担当）、聖和キャンパス事務室（1号館教育学部担当）で受け取り、応募用紙を提出してください。電子メールの添付ファイルでも受付します。

☆「募集要項」「応募用紙」がダウンロードできます。

http://www.kwansei.ac.jp/c_christian/index.jsp 学生団体の紹介にあります。

応募期間：4月26日(月)～5月27日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求：吉岡記念館事務室宗教センター

電話：0798-54-6018、E-mail:organist@kwansei.ac.jp

●人権教育研究室第1回公開研究会

「チャレンジと喜び!-車イス甲山登山と写真同好会を通じて生まれたもの-」
写真展&トークセッション

I. 写真展

開催日時：5月24日(月) 13:00～22:00
25日(火)～28日(金) 9:00～22:00
29日(土) 9:00～17:00

会場：関西学院大学図書館エントランスホール(1階)

II. トークセッション

開催日時：5月28日(金) 14:00～16:30

会場：関西学院大学図書館ホール(地下1階)

トーカー：車イス登山と写真同好会から各1名のメンバーと学生(OB)計6名

石田 英子（「はんしん自立の家」施設長）

古谷 桂信（写真家）

コーディネーター：藤井 美和（関西学院大学人間福祉学部）

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

- 5月28日(金) アンドレアス・ルスターホルツ（文学部宗教主事）
- 6月4日(金) アンドレアス・ルスターホルツ（文学部宗教主事）
- 6月11日(金) 樋口 進（宗教センター宗教主事）
- 6月18日(金) 田淵 結（宗教総主事）
- 6月25日(金) アンドレアス・ルスターホルツ（文学部宗教主事）